

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 同 伸 会	代表者	岩 渕 惣二	法人・ 事業所 の特徴	「すべては地域のために」を法人理念とし、事業所では本人の想いや願いを大切に、家族・地域みんなで納得し、おりあいをつけながら、生活の継続ができるよう、また、個々の人財を活かし、高い倫理性を持った職場づくりと、地域に開かれた求められる福祉拠点を目指しています。
事業所名	小規模多機能ホーム にいだ	管理者	斎藤 竜也		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価の傾向として、謙遜や立場や役職によって評価基準に差異が見られる為、サービス評価について研修を行い理解を深め、より運営に反映できるよう取り組む。	改めてサービス評価に向けた研修開催は実施できていないが、項目ごとの会議場面で事業所としてどうかを振り返ることで、多角的な見方に対する学習場面としても成り立っていた。	年度を通して、特に事業所で力を入れた項目、課題と感じている項目を明確にして振り返られれば、もっとわかりやすくなると思います。	利用者対応を軸に業務改善を図り、関わりの充足に努める。関わりを充足することで、自己評価において自己肯定につなげていけるよう取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	コロナ禍が長く続いたことで、行事等も制限を余儀なくされてきたが、今後も注視していくことが必要である為、季節にあった事業所内の装飾を行い、目で楽しめる空間作りを行う。	季節柄の装飾は毎月利用者と一緒に作成してきた。また、個人の作品も飾り、見て利用者間で自然と会話が生まれる環境作りにも取り組んだ。	今年度から運営推進会議が再開され、数年ぶりに事業所の中に入った。毎月資料で事業所内の写真が掲載されていて、季節的な装飾がされている印象です。	開設 11 年経過し、各所建物の経年劣化が見られてきている為、都度必要な修繕や購入も検討しながら、利用者のご不便につながらないようにしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	継続して事業所周辺の環境美化、除雪に取り組んでいく。冬期間は事業所周辺住民も事業所職員も安全に走行・歩行ができるよう、協力して除雪に取り組む。	業務状況にもより毎回とは行かなかったが、事業所に設置してある自動販売機周辺のゴミ拾いや、事業所敷地内外の除雪作業に取り組んできた。近所の方と会った時はお互いに声を掛け合うことができていた。	今後も無理のない範囲で取り組んでください。	可能な範囲で参加可能な行事やイベント等へ参加させていただき、事業所と地域のかかわりが維持できるよう取り組む。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	これまでの生活スタイルや生活環境を支えながら、自宅での生活をより継続できるよう取り組む。また、事業所だけで支えるのではなく、本人にとって関わってくれる方々との連携を強化し、一体的に支えられるようにする。	培ってきた生活力に目を向け、維持できるような支援の必要性を職員間で検討しながら取り組んだ。また、利用者の友人と会う機会もあつたりと、そういう方との交流が生活に良い影響を与えていることの把握につながることもあった。	本人のできることを最大限活かせるよう配慮し、安心して生活できる取り組みを継続して行って欲しいです。	これまでの生活スタイルや生活環境を支えながら、自宅での生活をより継続できるよう取り組む。また、事業所だけで支えるのではなく、本人にとって関わってくれる方々との連携を強化し、一体的に支えられるようにする。 (前期計画継続)
E. 運営推進会議を活かした取組み	感染予防対策を講じながら、可能な限り会議形式での運営推進会議開催を目指す。直接、事業活動を説明する機会を得ながら、いただいた助言やアドバイス等を運営に活かしていく。	感染症法上 5 類になってから、感染対策を講じた上で会議形式で運営推進会議を開催でき、直接報告、説明することでより具体的な助言やアドバイスをいただくことができています。	5 類になってから地域も大きな行事が開催されたりと徐々に以前の暮らしが戻ってきていることを実感しています。少しずつ、利用者の方が楽しめる催し物ができていけば良いと思います。	事業所だけで支えるのではなく、本人にとって関わってくれる方々との連携を強化し、一体的に支えられるよう、地域資源の活用に向けた助言やアドバイス等を活かしていく。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>職員に対して BCP の周知、訓練を通しての見直しを図りながら実際の現場に即したものと精度を上げていく。</p>	<p>BCP は法人で策定している。机上訓練を通して、地域の災害協力員の現状の見直しを行っている。また、動きの中で非現実的な流れになっているところもあり、見直している。</p>	<p>地域の災害協力員は急ぎ必要だと思います。また、女性の協力の必要性も高い為、今後、非常ベルが届く範囲内で男女問わず、協力してもらえ人の募集に動くと思います。</p>	<p>職員に対して BCP の周知、訓練を通しての見直しを図りながら実際の現場に即したものと精度を上げていく。(前期計画継続)</p>
----------------------------	---	--	--	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 28 日 (14 : 00～14 : 20)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 新岡・長谷川・島脇・川口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	11 人	2 人	0 人	14 人

前回の改善計画
新規利用開始前に利用者様・家族様の状況を確認しながら、可能な限り顔を合わせて関係構築を図り、これまでよりも事前に収集できる情報を多くし、今の利用者様にとって必要なケアの提供や楽しみの提供につなげていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
サービス利用開始後等は、本人・家族等の不安や希望を受け止め、声掛けや気遣い、関係作りのための配慮はできる限り取り組むことができた。 しかし、本人の楽しみ等の情報がなかなか引き出せず、楽しみの提供につながっていないこともあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	10	1	0	14 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	9	3	0	14 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	3	10	1	0	14 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	9	2	0	14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">本人の情報をもとに声掛けをし、不安感を受け止めて対応できていると思うサービス利用当初は本人、家族の不安や希望を受け止め、声掛けや気遣い、関係作りのための配慮をしている。利用開始前に事前に得た情報が提示され共有できていて、必要なケアの提供はできていると思う。利用開始前にアセスメントシートを確認できていて、その上で管理者、ケアマネジャーから再度情報が提供されている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">楽しみの提供はいつも同じ利用者との余暇を行っており「やることがない」「つまらない」との声を聞いて時がある。情報収集後に PC に入力されているが、その後知り得た情報や追加になってことがみんなに共有されていないこともある。事前情報と実際に違いがあった時にどのように対応して良いか迷うことがある。利用開始前にできるだけ多くの情報を得ることが望ましいが、同時に関係構築も必要である為、どうしても負担や不信感につながらないように段階的な情報収集になってしまうと思う。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	個別に必要な情報が違う為、送迎時や日々のケアの中から詳しい情報を引き出すための声掛け等を工夫していき、初めて知り得た情報は職員同士で声掛けをし、記録入力することで職員間の情報共有を強化していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 29 日 (14 : 00～14 : 25)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 新岡・佐藤・信田・村上・川口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0 人	5 人	8 人	1 人	14 人

前回の改善計画	自分達が対応したり提供してみた余暇の状況等を踏まえ、ケアマネジャーに提案していくことでケアプランの作成に参画していき、ケアプランの位置付け、重要性を再確認していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ケア内容や本人の変化があった際には、ミーティングで都度報告ができています。しかし、限られた人員の中で生活に必要なケアを行うことが優先となっていて、新たな楽しみの提供や引き出す取り組みは不十分であった。その為、ケアマネジャーへ得た情報提供も思うようにいかず、ケアプラン作成に対する参画はあまりできていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	4	8	0	14 人
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	4	8	0	14 人
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	7	6	0	14 人
④ 実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	7	5	0	14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・継続してアセスメントシートを担当制で刷新することで、本人の自己実現を意識して接することができている。・利用者との何気ない会話の内容の中で必要と思われることはケアマネジャーへ伝えるようにしている。・ミーティングやケア表を活用し情報共有、提供を行っている。・声に出して「～したい」と言える利用者や雰囲気、ジェスチャー等で伝えられる方は、できるだけ理解に努めて関わるようにしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・利用者に提供している支援が本人のしたいことと一致しているのか不安を感じる時がある。・日々のケアの中で出来ているとは思いますが、伝えた内容がどの程度ケアプランの内容とリンクしているかは不明。・余暇の状況等をミーティングで一部共有することはあっても、上記の改善計画のようにケアプラン作成どこまで参画できているかわからない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
自分達が対応したり提供してみた余暇の状況等を踏まえ、ケアマネジャーに提案していくことでケアプランの作成に参画していき、ケアプランの位置付け、重要性を再確認していく。ケアマネジャーがケアプラン更新 1 ヶ月前に提示し、職員から意見を確認していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 30 日 (14 : 00～14 : 20)

3. 日常生活の支援

メンバー 齋藤・新岡・峠館・加藤・川口・中鶴間

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	13 人	0 人	0 人	14 人

前回の改善計画
気づいたことを発信し共有していく為に、今まで同様、継続して記録入力、口頭での情報共有を行っていく。記録忘れを防止する為に、入力時間が確保出来るよう職員間で声を掛け合う。

前回の改善計画に対する取組み結果
職員同士で声掛けをし、記録入力、情報共有を行っている。また、送迎時、家族から知り得た情報等は、ケアマネジャー、看護師、記録者等へ報告できている。
しかし、記録入力はされているものの、必要とする情報の詳細が入力されていないことも時々見られ、出勤状況で直接確認ができない時に対応に苦慮する場面もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	6	7	0	14 人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	10	0	0	14 人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	10	3	0	14 人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	10	1	0	14 人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	9	1	0	14 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・要連絡事項 (本人の変化) は必ず記録入力し、ミーティング時に情報共有している。(職員間で協力し、記録入力の時間は確保できている。)
 ・利用者、家族との関わりの中で、以前の暮らし方であったり、今現在の自宅での過ごし方等を知り得た際は、ミーティングや記録する事で共有している。
 ・家族の方からの本人様の変化・体調などを送迎時に聞き、職員や看護に伝え日中の観察等をしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・本人の声にならない声を、チームで言語化できているのか疑問に思う時がある。
 ・訴えや、自分の想いを上手く伝えられない方に対し、意識して対応するようにしているが、十分に汲み取れているかは疑問が残る。
 ・一部、記録忘れや漏れがある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 職員間の情報共有として記録入力に関する取り組みは定着されてきたが、必要な情報が抜けていたり記録内容の不備が見られる時がある。その為、他職員と記録内容の確認を行いながら入力し、記録の質の向上に取り組む。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 31 日 (13:45～14:05)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 齋藤・長谷川・峠館・加藤・川口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	11 人	1 人	0 人	14 人

前回の改善計画	今後コロナ禍が続き、感染状況によって講じる対策も変化してきている状況にある為、継続して利用者様・家族様の健康状態や接触状況等を引き出せるような関係維持、必要に応じた柔軟な支援の検討と提供を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	モニタリングや送迎時等を活用して積極的に利用者・家族の体調確認を行っている。接触状況等については感染症上第 5 類へ分類の見直しがなされたこと、それに伴い法人内での対策緩和もあり、積極的な確認は行っていなかった。 業種の違いによる感染予防対策に対する意識の違いもあり、どこまで確認してどこまでお願いが可能かという難しさも感じる場面があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	10	3	0	14 人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	7	4	0	14 人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	8	6	0	14 人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	1	9	2	14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人と家族との関係が切れないう、ケアマネが間に入り、ケアワーカーに情報を提供し共有できている。 ・利用者だけではなく家族との関わりの中で、関係性を理解し支援につなげていけるよう努力している。 ・送迎、訪問時の際の状態や、ご家族との会話で情報収集出来ている。 ・コロナ禍でも必要な支援や、関係の維持は出来ていると思う。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・独居の方が自宅でどのように過ごしているか、限られた事だけで、どこまで把握しているかわからない。 ・要支援の方等、生活上で自立度の高い方ほど、普段の生活の中で地域の方々との付き合いや関係性があまり把握できていない。 ・社会資源として、ご家族様以外にご近所・町内会・新聞配達・郵便配達・配食業者などとやり取りがほとんどない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
客観的に見た生活の不安定さ＝本人の生活のしづらさには直結しないことを共通認識し、利用者の培ってきた生活力を最大限発揮してもらえるよう、できている所、できなくなってきた所を見極め、双方を支えていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年 11月1日 (13:50~14:15)
------------------	-----	--------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	齋藤・長谷川・佐藤・島脇
----------------	------	--------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	4人	1人	14人

前回の改善計画	記録や声の掛け合いによって情報共有を図ってきたが、業務都合や勤務都合によってミーティングに参加出来ない職員に対して情報が途切れたり伝え漏れが生じている為、一定期間、ミーティングの場で情報を伝え、全職員が直接聞ける場、確認出来る場を作っていく。また、記録の内容等に不備が無いよう、都度お互いに気づいたことを伝え合える環境整備に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	一定期間情報をミーティングの場で伝える取り組みや記録入力に対する職員間の声掛けは以前よりも充実していたこともあり、記録入力の漏れや伝え漏れは少なくなっていたが、内容面に関して、詳細な情報の記載が職員によってバラバラで対応等に困る場面も見られていた。 しかし、詳細な記載が無くても記録に出来事の記載が残っていることで確認することができ、結果として途切れることなく支援ができています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たちの事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	5	5	2	14人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	12	1	0	14人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	11	1	0	14人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	8	1	0	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングに参加していない時は、進んで確認するようにしている。 ・利用者の状態や対応等、一定期間追いながらミーティングでも確認を繰り返している為、どの職員もどこかで聞いたり、確認できていると思う。 ・独居の利用者に対して、熱中症対策として家族に生活状況を詳細に伝え環境整備の協力を依頼したり、猛暑の日は臨時で宿泊対応を行っていた 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・情報量が多すぎて把握しきれず、対応に不備が生じたり、情報が浸透していないと感じる事がある。 ・ミーティングでの共有について、小さな変化等は話し合えていない部分もあると思う。 ・ミーティングで発信した人が記録入力できていない時があり、詳細が不明なことがある。(出来事しか伝わらず、なぜそう感じたか、なぜそうなったのか詳しい原因が不明である。) 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
以前よりも独居者や高齢世帯の方々の利用率は減少し、家族と同居している方の利用率が高くなっていて、家族の就労に合わせて支援を組み立てる必要性が高くなってきている為、支援の必要性の見極め、本人・家族・事業所の役割の明確化を図っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 11月2日 (13:55~14:10)

6. 連携・協働

メンバー 齋藤・新岡・長谷川・峠館・川口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	3人	3人	14人

前回の改善計画

今後もコロナ禍が続き、感染状況によって大きく左右されるが、引き続き感染予防対策を優先としながら、可能な限り地域活動への参加、事業所の存在を発信していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

感染予防対策を優先しながら会議形式での運営推進会議の開催、大館公民館文化祭への作品展示、防災研修への参加等、可能な範囲から徐々に地域活動参加の幅を広げることができた。しかし、あくまでも参加という形であり、存在発信という側面はあまり無かった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	4	6	3	1	14人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3	5	3	3	14人
③	地域の各種機関・団体(自治体、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	7	4	3	14人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	1	9	4	14人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・本人が自宅での生活を維持する為、病院・訪看・福祉用具の事業所と管理者やケアマネが連絡を取り合い支援している。また、その情報は職員間で共有されている。
- ・運営推進会議等で地域の方や他事業所への報告は行っている。
- ・必要な会議や活動に関しては、管理者やケアマネが対応している。
- ・訪看との連絡は、紙面や電話で利用者の情報共有を行っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・感染予防の観点もあるが、人間的な課題もあり、以前のような地域活動への参加が難しいところもあった。
- ・地域と事業所が協働で何かを行うということは無かった。
- ・コロナ禍以前からあまり登録者以外の方が事業所を訪れることは無かったが、コロナ禍以降、余計に難しくなっている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

非常災害時や火災等の有事の際に避難誘導や見守り等について、特に夜間は近隣住民の協力が不可欠である為、災害協力員として協力いただける住民の方々との連携強化、また、町内会からの助言や回覧板等を活用しながら男性・女性問わず協力していただけるのをお願いをし、体制整備に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 11月3日 (13:55~14:20)

7. 運営

メンバー 齋藤・佐藤・峠館・川口・中鶴間

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	8人	1人	2人	14人

前回の改善計画	コロナ禍になってから一度も会議形式で運営推進会議を開催出来ていない為、今後の感染状況や新型コロナウイルス感染症の分類の見直し等の動きに合わせて、実施可能な範囲で会議開催を模索していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	新型コロナウイルスが感染症法上第5類に分類されてから、会議形式で運営推進会議が開催できている。まだまだ、感染予防対策を講じた開催である為、コロナ禍前と同様とはいかないが、資料には活動状況の詳細を記載し、報告内容のスリム化を図り実施している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	7	5	2	14人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	10	0	2	14人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	9	1	2	14人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	8	4	2	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議は今年度から実施しており、昨年度と比較すると出来ている。その中で、管理者やケアマネが助言を頂いたり、地域内での問題点、改善策の話し合いができている。 利用者、家族からの意見が聞かれた際には報告し話し合っている。 気づいたことや疑問に思った事はミーティングの場等で意見として伝えている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> それぞれ事業所に対する考えや意見があると思うが、表立って聞こえてくるのが少ない。 事業所の在り方について意見を述べる事が出来ていない。 地域と協働した取り組みに個々の職員は関わる事が少ない。 地域の方との交流がなくできていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
サービス増加が顕著である為、限られた人員で介護の質を担保しながら過不足ない支援、不随業務を遂行していけるよう、適宜実際に即した業務改善を図っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 11月4日 (14:00~14:20)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 新岡・信田・村上・澤口・加藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	4人	3人	14人

前回の改善計画	コロナ禍になり、職場外研修もオンラインで開催されることが多くなった為、研修案内を提示し徐々に参加機会を拡充し、スキルアップを図りながら、自分達のサービスの質の向上に努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	職場内研修(法定研修含む)はオンデマンド研修を導入し受講環境を整備している。職場外研修に関しては、なかなか現場の状況、人員等から参加に関して消極的であった。 しかし、職場内研修はオンデマンド研修にのみ頼るのではなく、緊急時対応訓練や吐物処理技術等、必要と捉えるものは実践も含めて研修を実施している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか?	0	8	4	2	14人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか?	0	7	3	4	14人
③	地域連絡会に参加していますか?	0	2	4	8	14人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか?	0	10	3	1	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン研修を実施しており、サービスの質の向上に努めている。 ・アクシデントやヒヤリハットがあった時は、ミーティング時に情報共有や職員会議を設け、自分たちのマイナス面の対策・強化を行っている。 ・オンライン研修で所定の研修以外にも、自分のスキルアップの為の研修を受けることができた。 ・リスクマネジメントは、ミーティングで情報共有できており、積極的に取り組んでいる。(1回だけでなく、2~3日に分けて話し合ったりしている) 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ルーティン業務や利用者の対応をしながらオンライン研修を実施している為、集中することが難しい。 ・リスクを予測した動きがまだ不十分である。 ・オンライン研修の時間を取ることが難しい。 ・資格取得やスキルアップの為の研修が出来ていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>オンデマンド研修に関して、夜勤業務に従事している職員は夜勤中に時間も活用できているが、夜勤業務に従事していない職員の受講時間を日勤帯で確保することが課題となっている為、受講時間を確保できるよう職員間の協力体制の強化を図っていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 11月5日 (14:00~14:25)

9. 人権・プライバシー

メンバー 新岡・佐藤・信田・村上・坂上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	12人	2人	0人	14人

前回の改善計画
転倒リスクの高い利用者様や行動が激しい利用者様も居る為、職員間で声を掛け合いながら、利用者様の見守りと通常業務遂行に対して組み立てを行い安全な体制を整えることで、人権・プライバシーに配慮したケアを提供していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
プライバシーに配慮した見守りや業務遂行に対して概ね職員間で配慮は見られていたが、利用者の情報のやり取りに関して場所に配慮したとしても声が大きかったり、配慮できていない時もあった。特に夜間帯は職員1人で複数人に利用者の対応を行うこともあり、自分達は気を付けていたつもりでも職員にとって配慮に欠けていた部分があった可能性も考えられる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	4	0	0	14人
②	虐待は行われていない	10	4	0	0	14人
③	プライバシーが守られている	4	10	1	0	14人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	2	2	9	14人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	9	0	0	14人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の急な行動に対し、スピーチロックではなく、職員が声掛けを行い、利用者の気持ちや想いに寄り添い共に行動している。
・身体拘束や虐待は行われていない。
・声を掛け合いながら、見守りや業務遂行出来た。
・利用者に対し、法人・施設としてのコンプライアンスは最低限度ではあるが配慮されていると思う。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ホール内に職員が居なくなってしまう事で、咄嗟の時に大きな声を出しながらホールに戻って来たり、大きな声や強い口調で話す時がある。
・他利用者対応中など、利用者に待っていただく声掛けを行っている。
・利用者の前で、排泄の有無の確認や、トイレ・浴室の出入り等、利用者様が恥ずかしいと思う場面もあるのではないか。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
重要性が高い為、引き続き職員間で声を掛け合いながら、利用者様の見守りと通常業務遂行に対して組み立てを行い安全な体制を整えることで、人権・プライバシーに配慮したケアを提供していく。